

平成 19 年（2007 年）7 月 18 日
交通対策・中野駅周辺まちづくり特別委員会資料
都 市 整 備 部 土 木 ・ 交 通 担 当

コミュニティバス「なかのん」の事故について

1 事故の概要

平成 19 年 7 月 9 日 午前 8 時 20 分ごろ、上り(中野駅方面行き)「なかのん」バス停大新横丁付近において、NTT の電話ボックスに「なかのん」のサイドミラーがぶつかり、電話ボックスは、大破した。

その結果、ガラス片がバス停でバスを待っていた 2 人の客にかかり、1 人の男性は、大事をとって東京医大に搬送されたが、検査の結果特段の異常は認められなかった。

2 事故の原因

バスの運転手がバス停にできるだけ車体を近づけようと目測を誤り、電話ボックスに車体を接触させたため。

3 関東バス(株)の対応

- (1) 事故車両の乗客に対しては、後続の便で対応した。
- (2) バス停については、臨時のバス停を設け、対応した。
- (3) 被害者への謝罪、お見舞いをした。

事故見取り図

